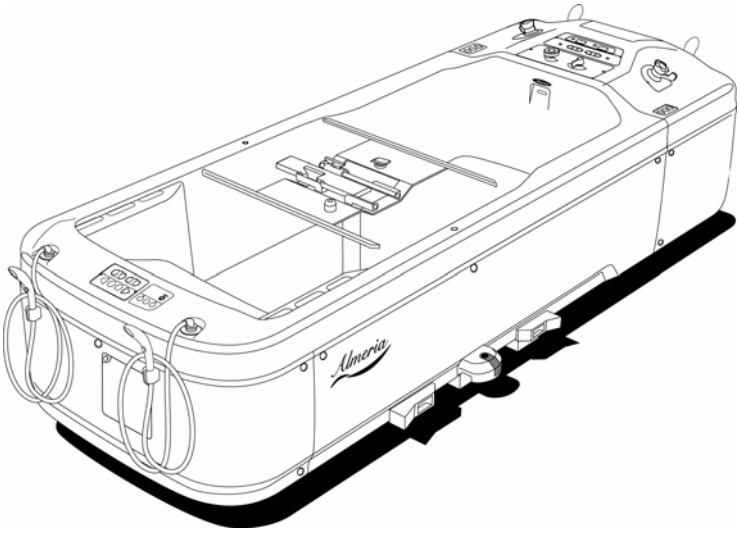
取扱説明書 保存用

Almeria

順送式入浴装置
介護エイドバス アルメリア

センタータイプ／R／Lタイプ

ALB−600CH
RH
LH



このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。「取扱説明書」はいつでも使用できるように、見やすい所に大切に保管してください。

Rehabilitation SAKAI

01-113⑧F6

≪現場用≫

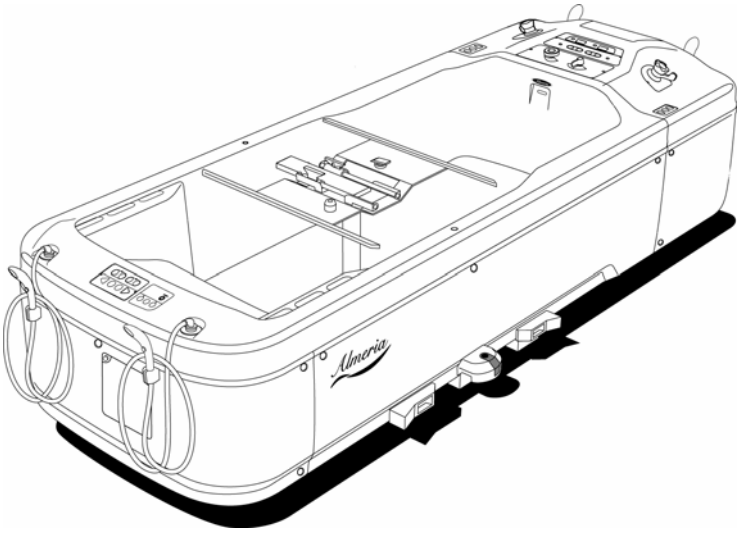
取扱説明書

Almeria

順送式入浴装置
介護エイドバス アルメリア

センタータイプ／R／Lタイプ

ALB－600CH
RH
LH



このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。「取扱説明書」はいつでも使用できるように、見やすい所に大切に保管してください。

Rehabilitation SAKAI

01-113⑧F6

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、
各注意事項を読んで必ずお守りください。

表示の意味は次のようになっています。

⚠ **危険 ・・・ 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負うことに至るもの**

⚠ **警告 ・・・ 取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの**

⚠ **注意 ・・・ 取り扱いを誤ると、傷害または物的損害の発生が想定されるもの**

下記の注意事項は、本文からの抜粋です。

⚠ 警告

1．入浴前に浴槽内の湯温が適温であることを、必ず手で確認してください。やけどの恐れがあります。

2．担架上の入浴者が安全ベルトで固定されていること、担架の手すりが下ろされ、サイドフェンスが起こされ固定されていることを必ず確認してください。

3．浴槽・ストレッチャー・洗浄台へ担架を乗せた後、担架が担架ストッパーにロックされていることを、必ず担架を動かして確認してください。

4．浴槽・ストレッチャー・洗浄台間を担架が移動するときは、
① ストレッチャーと浴槽（洗浄台）、あるいは浴槽と洗浄台が連結されていること。
② ストレッチャー（洗浄台）のキャスターのロックがかかっていること。
③ 浴槽のオートスライドストッパー受が入浴者側に移動していること。
を必ず確認してから行ってください。

5．入浴スイッチを押す前に、担架がオートスライドストッパー受にロックされていることを必ず確認してください。

6．手足の挟み込み等が無いように、入浴者の状態については、常に目を離さないように十分注意してください。

7．浴槽の周囲には物を置かないでください。挟み込み等の事故のもとになります。

8．薬液の次亜塩素酸ナトリウムは酸性の製品と一緒に用いないでください。人体に有害な塩素ガス等の発生の恐れがあります。

⚠ 注意

1．操作スイッチには水をかけないでください。

2．ご使用後は浴室の換気を十分に行い、湿度を下げてください。

目　次

１．用途及び特長 …… 2
２．構　成 …… 3
３．各部の名称と働き …… 4
４．ご使用になる前に …… 5
　４－１ 電源 …… 5
　４－２ 周囲の点検 …… 5
　４－３ 外観の点検 …… 5
　４－４ 入浴剤・薬液の使用 …… 5
５．浴槽の操作方法 …… 6
　５－１ 電源 …… 6
　５－２ 給湯 …… 6
　５－３ 入浴・出浴・停止 …… 9
　５－４ バブラー …… 12
　５－５ シャワー …… 12
　５－６ 担架の自動リクライニング及びリクライニング調節機構について … 14
　５－７ オートスライド機構について …… 15
　５－８ インターロック機構について …… 15
　５－９ 塩素殺菌装置について …… 16
　５－10 ろ過装置（オプション）について …… 20
　５－11 肩かけ湯について …… 21
　５－12 自動給湯システムについて …… 22
６．担架の操作方法 …… 22
７．ストレッチャーの操作方法 …… 22
８．洗浄台の操作方法 …… 22
９．入浴手順及び介助者の確認事項 …… 23
　９－１ 洗浄台がある場合 …… 23
　９－２ 洗浄台がない場合 …… 25
10．その他の使用上の注意 …… 28
11．お手入れの仕方 …… 29
　11－１ 清掃 …… 29
　11－２ その他 …… 30
12．このようなときには …… 31
13．保証とアフターサービス …… 32
14．仕　様 …… 32

01-113⑧

１．用途及び特長

• 用 途

本製品は介助を必要とする入浴者を対象に、快適でかつ効率的に入浴できることを目的とした順送式入浴装置です。

• 特 長

(1) ゆったりとした入浴スペース、明るい配色、肌に優しい FRP の採用により、心地良い入浴を楽しむことができます。

(2) 浴槽には、浴室の中央に設置して両側から入浴作業するセンタータイプと、片側を壁に接近させて設置し、片側からのみ入浴作業をするＲタイプとＬタイプとを用意してありますので、現場のニーズに合わせて選択をすることができます。
浴槽の昇降と連動する担架の自動リクライニング機構と担架のオートスライド機構は、介助者の労力を大巾に軽減し、腰への負担を減少させることができます。

(3) 担架が浴槽に正しくセットされないと浴槽が上昇しないインターロック機構と、高温水が給湯された場合、表示部及び高温警告ランプが点滅するデジタル式温度計を採用し、入浴作業の安全性を高めています。

(4) 担架頭部両側に設けられたノズルより、浴槽内の湯がシャワー状になって入浴者の肩付近にかかる肩かけ湯が標準装備されています。心疾患や高血圧症のため浅い入浴を余儀なくされる入浴者でも肩から暖まることができ、肩のマッサージにも使用できます。

(5) 心疾患や高血圧症のため、浅い入浴を余儀なくされる入浴者の場合に、水深を浅くするために担架リクライニング角度をスイッチ操作によって調節できます。

(6) 浴槽への給湯を自動停止する自動給湯システムを装備しています。
塩素殺菌装置を内蔵しており、衛生面の向上も図られています。

2．構 成

センタータイプ浴槽　　・・・ ＡＬＢ－６００ＣＧ(Ｐ)Ｈ
Ｒ／Ｌタイプ浴槽　　・・・ ＡＬＢ－６００ＲＧ(Ｐ)Ｈ
ＡＬＢ－６００ＬＧ(Ｐ)Ｈ

(オプション)
電動昇降式ストレッチャー　　・・・ ＳＴ－３６０
電動昇降式洗浄台　　・・・ ＮＷ－３６０
ろ過装置　　・・・ ＡＬＢ－５０Ｈ
用途に応じて、浴槽・担架・ストレッチャー・洗浄台と組合せて使用します。

(使用例)
(1) センタータイプ浴槽セット

単位：台数

	浴　槽 ALB-600CH	担　架 WS-360	ストレッチャー ST-350	横移動式洗浄台 NW-350
フルセット	1	6	4	2
ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞｾｯﾄ	1	2	2	1
交互式ｾｯﾄ	1	2	2	－

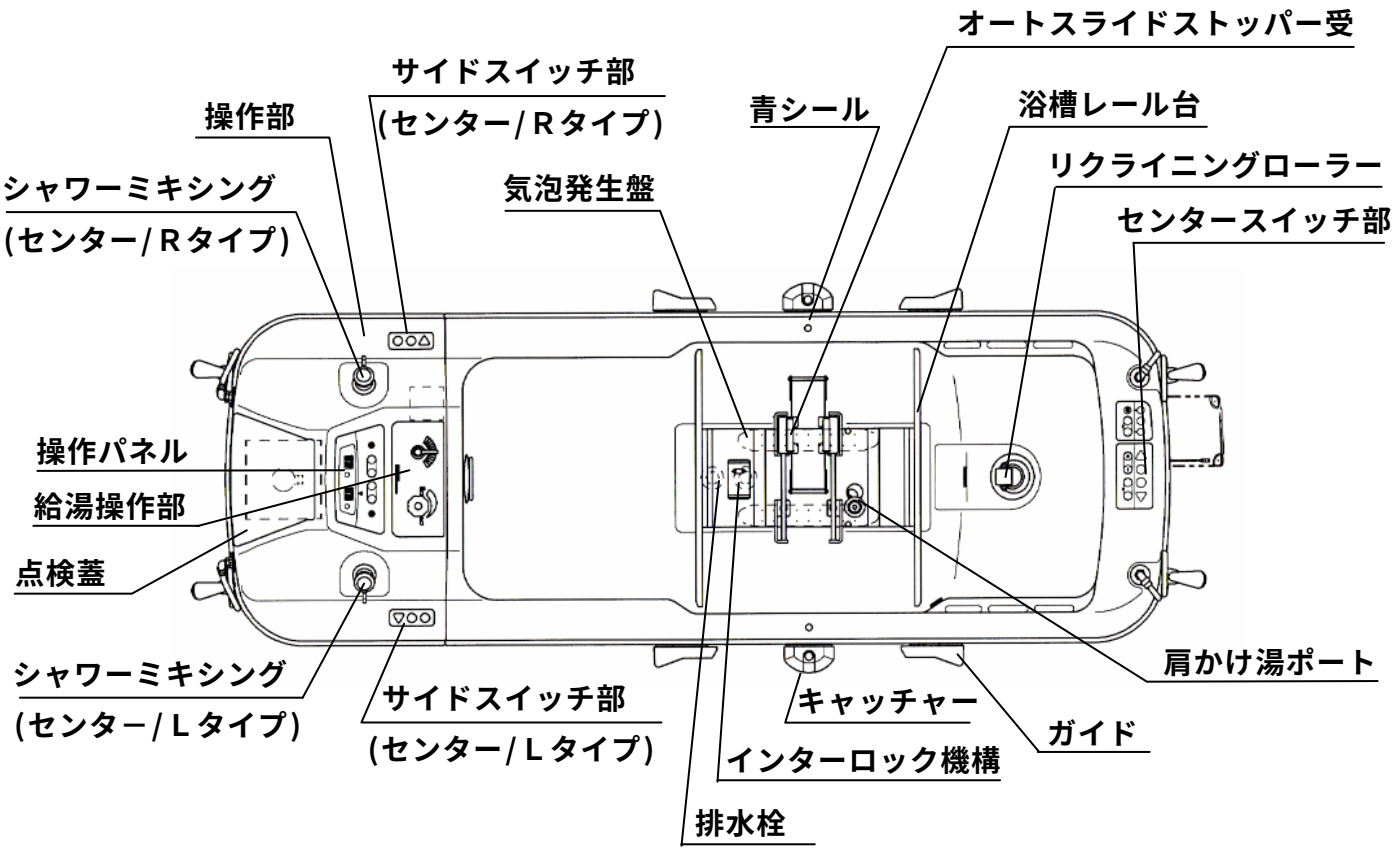
(2) Ｒ／Ｌタイプ浴槽セット

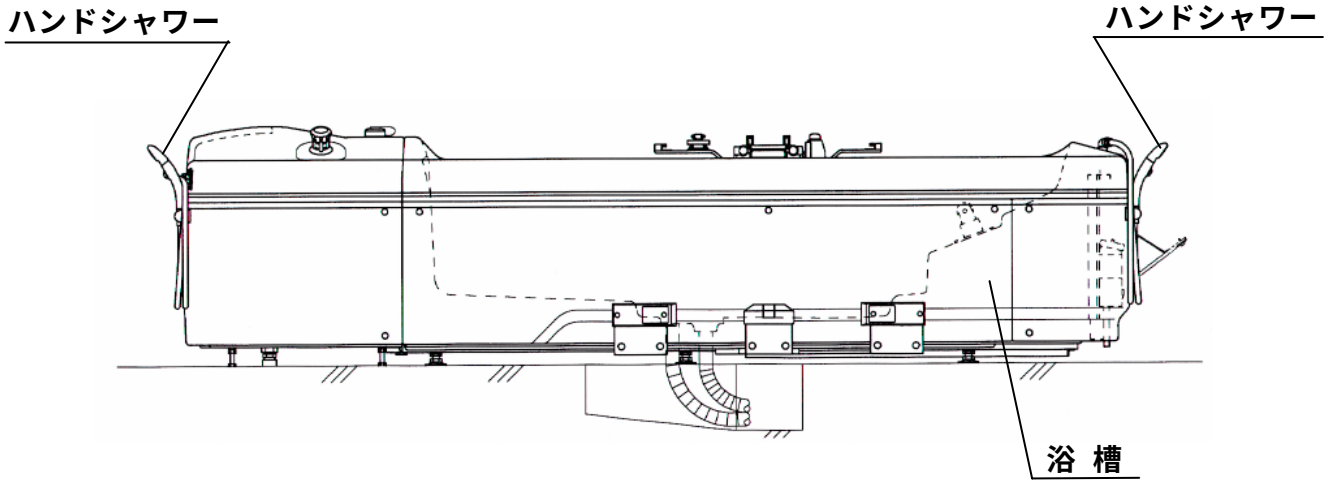
単位：台数

	浴　槽 ALB-600RH 又は ALB-600LH	担　架 WS-360	ストレッチャー ST-350	横移動式洗浄台 NW-350
簡易セット	1	1	1	－

３．各部の名称と働き

浴 槽：センタータイプ（図－１）





４．ご使用になる前に

４－１ 電源

本製品の電源は設置時に接続されています。使用前に必ず浴室の本製品操作用電源のブレーカーが切れていないか点検してください。

⚠ 警告	**サービスマン以外は、電源の接続を行わない** 正しく接続しないと故障や事故の原因になります。

⚠ 注意	**使用電圧は三相２００Ｖ±５％の範囲内で使用する** 範囲外の場合には機器の故障及び誤作動の原因となります。

４－２ 周囲の点検

浴槽の周囲に障害物が置かれていないかどうか点検してください。浴槽内にも、不要な物が入っていないか点検してください。

４－３ 外観の点検

ご使用前に本製品の外観を点検し、部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、電源を切って最寄りの営業所にご連絡ください。

破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

４－４ 入浴剤・薬液の使用

〈入浴剤について〉

入浴剤は、入浴剤の使用上の注意をよく読んで、浴槽（FRP）や配管等に悪影響を及ぼさない製品を使用してください。

〈薬液について〉

本製品の殺菌装置は、次亜塩素酸ナトリウム（1.5%溶液）専用です。他の薬液を使用したり、他の溶液と混ぜて使用しないでください。推奨品として、ピューラックス（㈱オーヤラックス製）の４倍希釈液を使用してください。取り扱いは、P.19「薬液の取り扱いの注意」を参照してください。

⚠ 警告	**次亜塩素酸ナトリウムは酸性の製品と一緒に用いない** 人体に有害な塩素ガス等の発生の恐れがあります。

⚠ 注意	**当社指定外の薬液を使用しない** 使用して装置が故障した場合は、保証期間内の製品でも、保証対象となりませんのでご注意ください。

５．浴槽の操作方法

５－１ 電源

浴室の浴槽用電源を入れ、電源ランプが点灯することを確認してください。

５－２ 給湯

（図－２，３，４参照）

(1) 給湯を始める前に浴槽の排水栓(２か所)がしっかり閉じていることを確認してください。

(2) 自動給湯スイッチの「入」を押してください。自動的に給湯されます。自動給湯を途中で止める場合は「切」を押してください。給湯が止まります。

(3) 操作部の給湯温度計を見ながら給湯水ミキシングのノブを回転させ給湯温度計を見て温度を設定してください。(給湯温度が約 44℃以上になると給湯温度計のデジタル表示及び高温警告ランプが点滅をして、高温であることを知らせます)

(4) 温度計は給湯口からの湯温を表示する給湯温度計と、浴槽に貯湯されている湯温を表示する浴槽内温度計の２つがあります。(湯の温度が約 44℃以上になるとデジタル表示及び高温警告ランプが点滅をして、高温であることを知らせます)

(5) 給湯は、適度な水位になったら自動的に停止します。

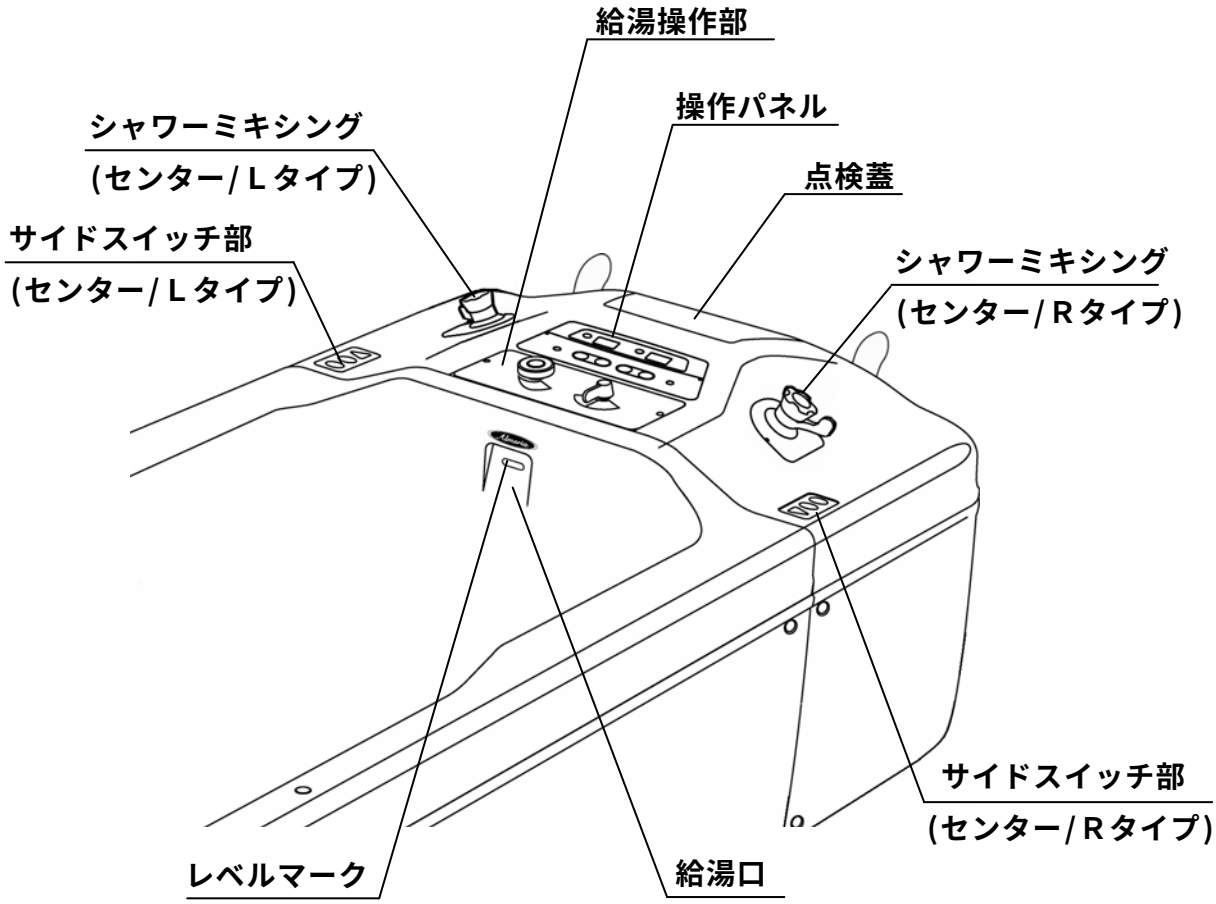
自動給湯システムを使用しないで給湯、または、差し湯をする場合

(1) 給湯水バルブを反時計回りに回すと給湯口から浴槽へ給湯されます。

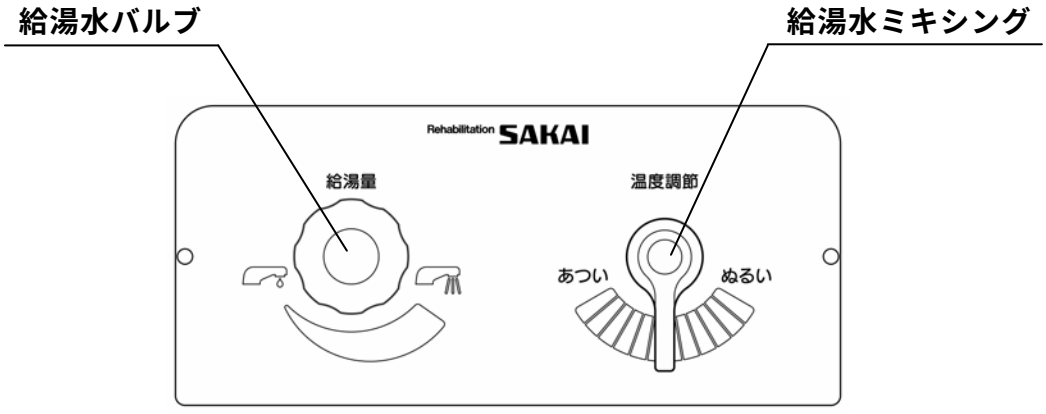
(2) 給湯を止めるときは、給湯水バルブを時計回りに回してください。

参考 レベルマークの高さで給湯を止めることにより、オーバーフローする湯量を節約することができます。

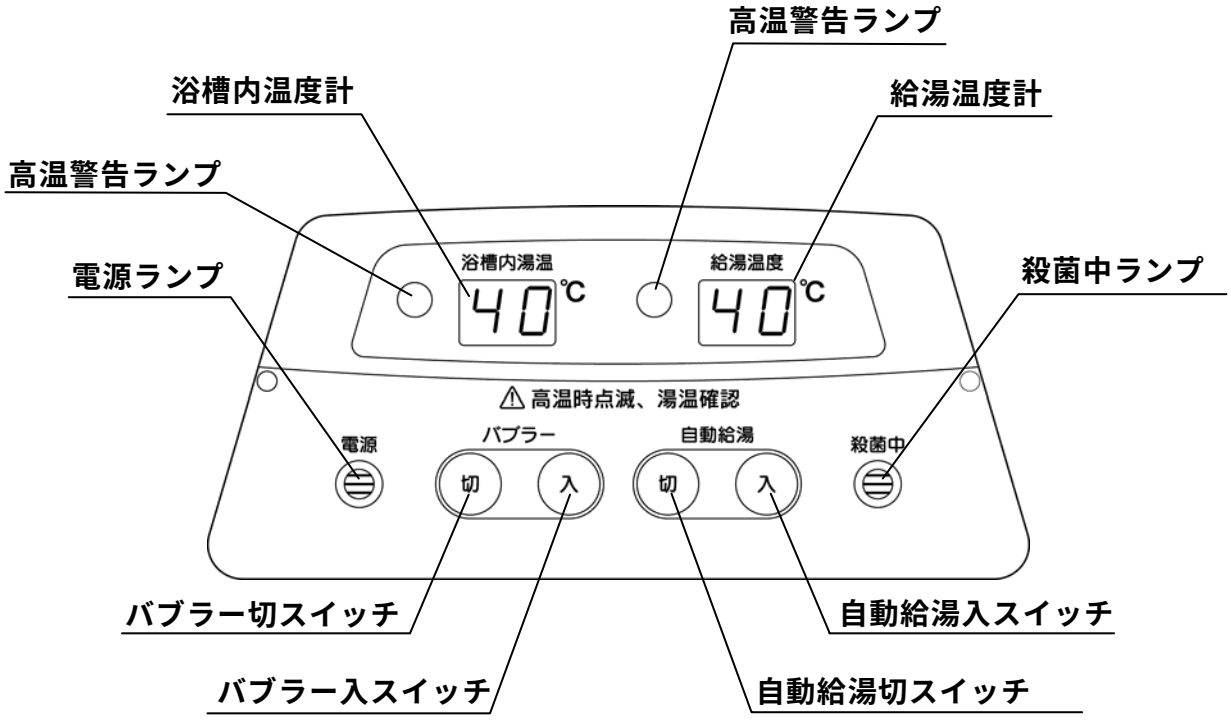
⚠ **警告**	**給湯や差し湯は、温度計と手で必ず湯温を確認** 温度が高いとやけどをする恐れがあります。特に浴槽内に入浴者がいる状態で差し湯をする場合には、十分注意してください。



浴槽操作部（図－２）



給湯操作部（図－３）


高温警告ランプ
浴槽内温度計
給湯温度計
高温警告ランプ
電源ランプ
殺菌中ランプ
浴槽内湯温
40℃
給湯温度
40℃
⚠ 高温時点滅、湯温確認
電源
バブラー
切
入
自動給湯
切
入
殺菌中
バブラー切スイッチ
自動給湯入スイッチ
バブラー入スイッチ
自動給湯切スイッチ

操作パネル(図－４)

５－３ 入浴・出浴・停止

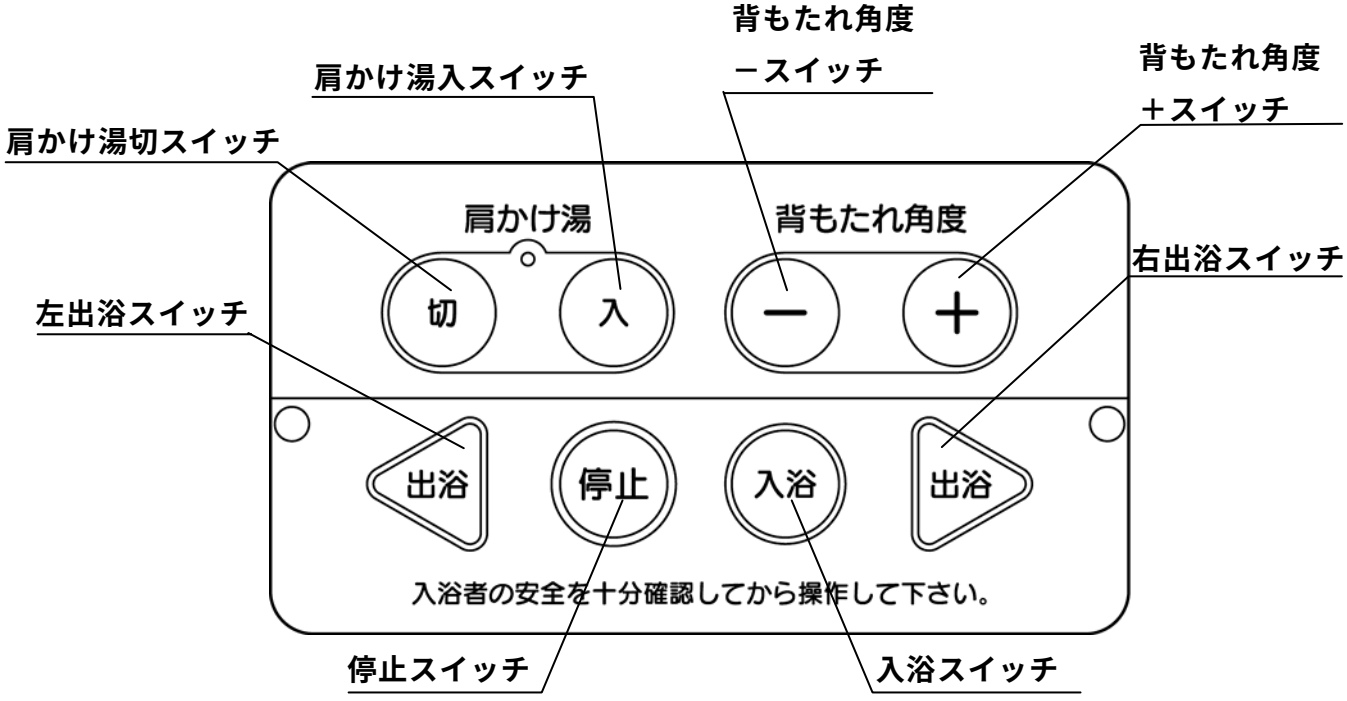
（図－５，６，７参照）

(1) 入・出浴操作は操作部両側のサイドスイッチ部または担架頭部側のセンタースイッチ部で行います。(センタータイプのみ。R/L タイプは操作部左右どちらかのサイドスイッチ部または担架頭部側のセンタースイッチ部)

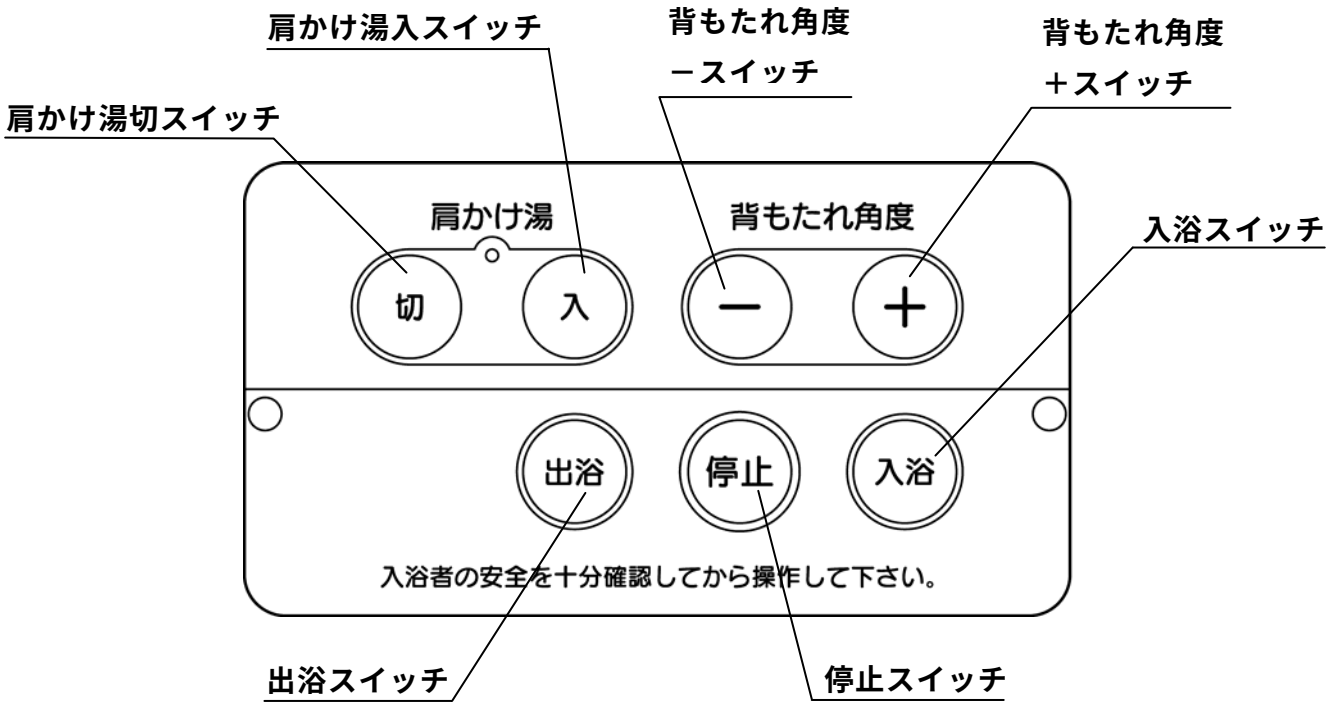
(2) 担架を所定の位置にセットした後入浴スイッチを押すと、オートスライドが作動し、担架が浴槽中央部に移動した後浴槽が上昇し、上限で自動停止します。
入浴スイッチは、サイドスイッチ部かセンタースイッチ部のどの入浴スイッチを押しても動作します。

(3) 出浴スイッチを押すと、浴槽が下限まで下降した後、担架が左右どちらか出浴スイッチを押した方向に移動し、自動停止します。
出浴スイッチは、サイドスイッチ部では、出浴したい側の出浴スイッチ、センタースイッチ部では、出浴したい方向の出浴スイッチを押しても動作します。

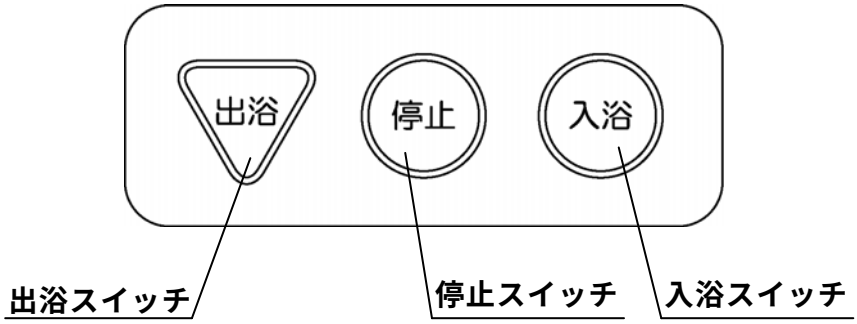
(4) 入浴・出浴動作中に途中で止めたい場合には、停止スイッチを押すと、直ちに浴槽または担架の動きは停止します。



センタースイッチ部(センタータイプ)（図－５）



センタースイッチ部(Ｒ/Ｌタイプ)（図－６）



サイドスイッチ部（図－７）

⚠ **注意**	**入浴スイッチを押す前にオートスライドストッパー受を確認** 担架が正しくセットされていないと浴槽は上昇しません。 （５－８　インターロック機構について　参照）
	入浴スイッチを押す前に、浴槽内及びレール台上部を確認 浴槽の周囲や浴槽の中などに不要物が無いことを確認してください。

参考

- 入浴作業開始時に、オートスライドストッパー受が左、右どちらかの端にない場合は、入浴操作ができません。オートスライドストッパー受が左右どちらかの端にセットされるよう出浴スイッチを押してオートスライドストッパー受を移動させてください。
- 出浴スイッチを押し、出浴操作中に停止スイッチを押して停止した場合、入浴スイッチを押すと再び入浴することができます。ただし、浴槽が下降し終わってオートスライドストッパー受が横移動を始めた後停止スイッチを押した場合は、停止した後に入浴スイッチを押しても再度入浴することはできませんのでご注意してください。その場合は、もう１度停止スイッチを押して出浴させたい方向の出浴スイッチを押してください。
- 出浴スイッチを押して、オートスライドが出浴動作中に停止スイッチを押して停止した場合、再び反対側の出浴スイッチを押すと、最初に選択した側とは反対側に出浴することができます。(浴槽がセンタータイプの場合のみ)
- 入浴者の身体の状態により、入浴深さを調節する場合は、入浴開始で浴槽上昇中又は、出浴開始で浴槽が下降中に停止スイッチを押して入浴者に合った水深を調節できます。
- 担架をオートスライドストッパー受にセットしないで入浴スイッチを押した場合、オートスライドストッパー受は中央付近で停止します。この後は入浴スイッチを押しても入浴操作はできませんのでご注意してください。その場合、もう一度停止スイッチを押して、出浴させたい方向の出浴スイッチを押してください。
- オートスライドストッパー受を反対側に移動させたい場合、移動させたい側の出浴スイッチを押すと反対側に移動後自動的に停止します。その後は通常の操作が可能です。 (浴槽がセンタータイプのみ)オートスライドストッパー受の移動は、担架をセットしていなくても可能です。

５－４ バブラー

（図－４参照）

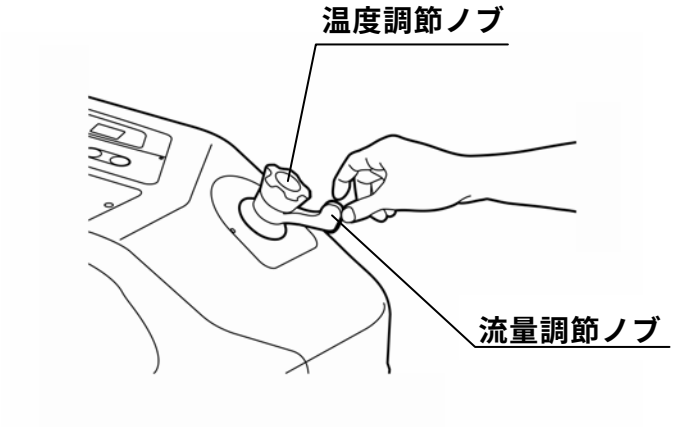
バブラー入スイッチを押すと、浴槽内に気泡が発生し気泡浴として入浴できます。停止させる場合はバブラー切スイッチを押してください。

参考 バブラー運転中に殺菌スイッチ(５－９ 塩素殺菌装置について参照)を押すとバブラーは停止し、一連の殺菌動作が終了するまでバブラーを使用することはできません。
一連の殺菌動作終了後にバブラーを使用する場合は、お手数ですが、もう一度バブラー入スイッチを押してください。

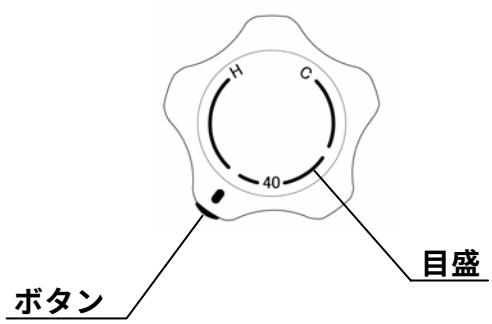
５－５ シャワー

（図－８，９，10 参照）

浴槽操作部には、シャワーミキシングバルブ２基、ハンドシャワーが前後両側に合計４か所装備されています。(センタータイプのみ。R/L タイプはシャワーミキシングバルブが１基、ハンドシャワーが前後片側に合計２か所装備されています)

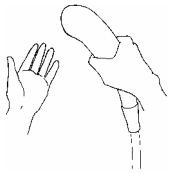


シャワーミキシングバルブ（図－８）



温度調節ノブ（図－９）

(1) 温度調節ノブで、シャワーの温度調節を行います。温度調節ノブを「H」の方に回すと温度が上がり、「C」の方に回すと温度が下がります。

⚠ 警告	**入浴者にシャワーをかける前や使用中にも必ず手で温度を確認** 温度調節ノブで温度調節した後でも、給湯・給水の水圧のにより、シャワーの温度が変わることがあります。 
	温度調節ノブはゆっくり回す 急に回すと温度が急激に変化し、やけどをする恐れがあります。
	シャワーをかけたままにして入浴者から離れない 介助者が離れている間に温度が急変し、やけどをする恐れがあります。

(2) 温度調節ノブには、誤って熱湯を出さないようにボタンが付いており、温度調節ノブを「H」の方に回すと、目盛“40”付近で停止します。さらに高温のお湯を出す場合には、ボタンを押したまま温度調節ノブを回すことにより使用できますが、やけどのおそれがあるため、通常はノブの停止位置より温度の低い範囲でご使用ください。

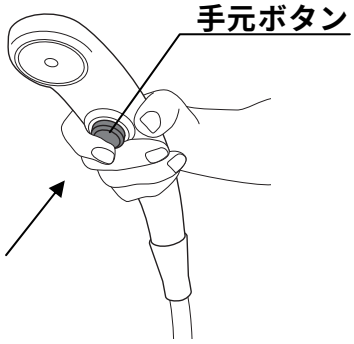
⚠ 警告	**高温のお湯を使用した後は、必ず温度調節ノブを元に戻す** そのままにしますと、次に使用するときにやけどをする恐れがありますので、低温側に回して、しばらく水を流してください。

(3) 流量調節ノブで、シャワーの開閉及び流量調節を行います。

⚠ 注意	**流量調節ノブはゆっくり回す** ノブを閉の方に急に回すと、水圧が高くなり配管から水漏れを起こす原因になります。

(4) ハンドシャワーは、手元ボタンを押すごとにシャワーの ON,OFF を切り換えることができます。

⚠ 注意	**使用後は流量調節ノブで湯を止める** 手元ボタンのみでシャワーの操作を行っていると、シャワーの寿命が短くなります。



ハンドシャワー
(図－10)

５－６ 担架の自動リクライニング及びリクライニング調節機構について

本製品には自動リクライニング装置及びリクライニング調節機構が装備されています。

(1) 担架をほぼ水平のままストレッチャーや洗浄台から浴槽の中のオートスライドストッパー受へ移動し担架のロックが固定したことを確認してください。
(2) 浴槽が上昇するにつれ、担架の背もたれ部が自動的に起きます。
（約 21°）
(3) 担架の背もたれ部が自動的に起きあがった後、背もたれ角度調節スイッチの＋スイッチを押すと角度が上がり、－スイッチを押すと角度が下がり、自由に角度を変える事ができます。
（約 21°～27°の範囲）
(4) 浴槽を下降させると背もたれ部はほぼ水平に戻ります。(約３°)

参考 担架の背もたれ部を持ち上げて担架リクライニング角度を固定することも出来ます。(約 21°)その場合、自動リクライニングは作動しません。ただし、リクライニング調節機構を操作することは出来ます。
（約 21°～27°の範囲）

５－７ オートスライド機構について

本製品には、オートスライド機構が装備されています。

担架を移動する前にオートスライドストッパー受が担架側にあることを確認してから入浴作業を開始してください。

担架をストレッチャーまたは洗浄台からオートスライドストッパー受へ移動したら、必ず担架が正しい位置にセットされていることを確認してください。

入浴スイッチを押すと浴槽中央へオートスライドストッパー受が移動し、インターロック機構が作動した後、浴槽が上昇します。

⚠ 警告	**担架を移動する前にオートスライドストッパー受が担架側にあることを確認** 浴槽がセンタータイプの場合、入浴時にオートスライドストッパー受の位置が入浴者側ではない状態で、担架を移動させてもストッパー受に当たり、正しくセットされません。担架が正しくセットされていない状態で入浴スイッチを押すとオートスライドストッパー受に押され担架が落下する恐れがあります。

⚠ 注意	**レール台の上に物を置かない** 担架移動時に挟み込み等を起こして思わぬ故障の原因になりますので、レール台上に物がないことを常に確認してください。

５－８ インターロック機構について

本製品の浴槽レール台には、インターロック機構が装備されています。オートスライドストッパー受が浴槽レール台の浴槽中央へ移動すると、担架が所定の位置にセットされているかどうか検出して、浴槽が上昇します。正しくセットされていない場合は、浴槽は上昇しません。

⚠ 注意	**入浴スイッチを押す前に担架のロックを必ず確認** インターロック機構は装備されていますが、担架がオートスライドストッパーにロックされたことを、必ず担架を動かして確認してください。 浴槽が上昇しない場合は、担架をオートスライドストッパー受の所定の位置に再度セットし、担架ストッパーがロックされたことを確認して、再び入浴スイッチを押してください。

５－９ 塩素殺菌装置について

（図－11 参照）

本製品内蔵の塩素殺菌装置は、**浴槽**の**殺菌と浴槽水(お湯)**の殺菌が行えます。

浴槽殺菌　：浴槽湯量に対して約 0.7ppm 分の量の薬液を吐出し、浴槽と担架の殺菌を行うものです。
毎日の入浴作業終了後に行うことをお奨めします。

浴槽水殺菌：浴槽湯量に対して約 0.3ppm 分の量の薬液を吐出し、浴槽水(お湯)の殺菌を行うものです。昼休み時間(菌の増殖を押える)や、失禁等による湯の入れ替え後に行ってください。

(1) 浴槽の殺菌

①ろ過装置付き(オプション)の場合、最初に、ろ過入スイッチを押してから以下の操作を行ってください。（図－13 参照）

②「浴槽(濃い)」殺菌スイッチを上部の表示ランプが点灯するまで長押し（約 4 秒）してください。浴槽操作部の「殺菌中」ランプが点灯します。

③薬液吐出後、自動的にバブラーが２回作動して薬液を攪拌します。
（浴槽殺菌の所要時間は、約７分です。）

④ろ過装置付き（オプション）の場合、２回のバブラー作動後に自動でろ過装置の逆洗が行なわれます。
（逆洗の所要時間は、約２分です。）

⑤浴槽の殺菌が終了すると、表示ランプと「殺菌中」ランプが消灯しますので約 10 分間放置した後に、浴槽の湯を排水してください。

⑥浴槽の殺菌を途中で停止する場合は、殺菌停止スイッチを押してください。

ご注意 浴槽の湯量が浴槽内側の青いレベルマーク（縁より約 10㎝ 下）より少ない場合、殺菌装置は作動しませんので増し湯をしてから操作してください。

(2) 浴槽水の殺菌

①ろ過装置付き(オプション)の場合、最初に、ろ過入スイッチを押してから以下の操作を行ってください。（図－13 参照）

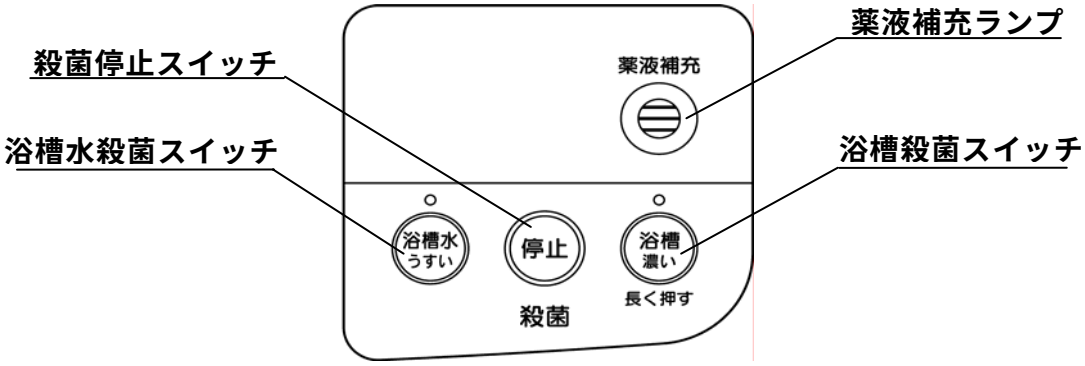
②「浴槽水（うすい）」殺菌スイッチを押すと、上部の表示ランプと浴槽操作部の「殺菌中」ランプが点灯し、自動的に薬液が浴槽水へ吐出されます。

③薬液吐出後、バブラーによる攪拌が自動的に２度行なわれ、浴槽水の殺菌終了がすると、表示ランプは消灯します。

④「殺菌中」ランプは浴槽水の殺菌操作の約１時間後に消灯します。再度浴槽水の殺菌を行う場合は、このランプ消灯後に行ってください。薬液の濃度が必要以上に濃くなることを防止するために、「殺菌中」ランプ点灯中は浴槽水の殺菌が行えません。

⑤浴槽水の殺菌を途中で停止する場合は、殺菌停止スイッチを押してください。

ご注意 浴槽の湯量が浴槽内側の青いレベルマーク（縁より約 10㎝ 下）より少ない場合、殺菌装置は作動しませんので、増し湯をしてから操作してください。



殺菌スイッチ部（図－11）

参考

- 「殺菌中」ランプ点灯中に失禁等による湯の交換を行い浴槽水の殺菌が必要になった場合は、電源を入れ直すことにより浴槽水殺菌の操作が可能になります。
- 「公衆浴場における衛生等管理要領について」（抜粋）
  厚生省(現厚生労働省)通達　(生衛発第 1811 号、H12.12.15)

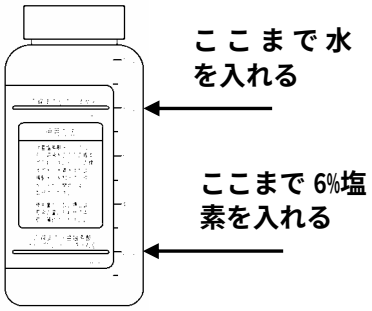
  適用の範囲：公衆浴場及び浴場業

  ・浴槽の清掃は毎日、消毒は月一回以上行うこと。ろ過装置付きの場合は、ろ過部の消毒及び逆洗を週一回以上行うこと。

  ・浴槽水の消毒に用いる塩素系薬剤の濃度は、遊離残留塩素濃度を１日２時間以上 0.2～0.4mg/L(ppm)に保つことが望ましい。

(3) 薬液補充（図－12 参照）

薬液が少なくなると、「薬液補充」ランプが点灯します。点灯した場合は、速やかに薬液を補充してください。補充は、後述の「薬液の取扱いの注意」に従って充分注意し、次の手順で行ってください。



① 補充薬液を作ります。市販の**６％次亜塩素酸ナトリウム**を付属の希釈ボトルの 200 の線まで入れ、水道水または精製水を 800 の線まで加えて４倍に希釈し 1.5%溶液を作ります。

② 浴槽を最下位まで下げます。

③ 電源を切ります。

④ メンテナンスカバーを開けます。

⑤ 薬液タンクの注入口の蓋を左に回して開けます。

⑥ ①で希釈した薬液をこぼさないように薬液タンクに入れます。

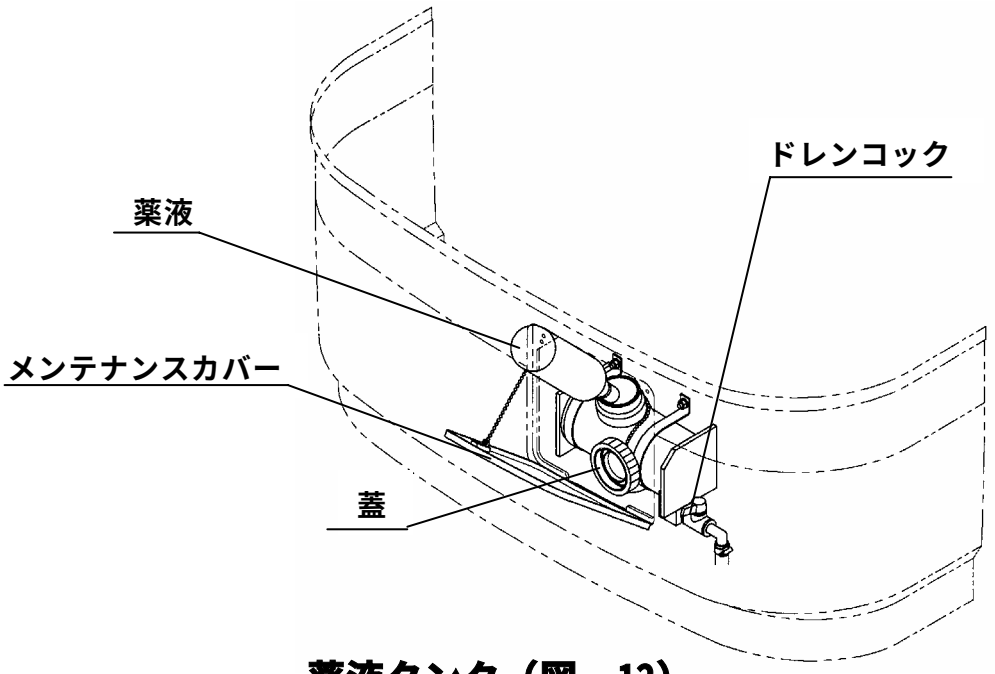
⑦ 薬液タンクの注入口の蓋を右に回して閉めます。

⑧ メンテナンスカバーを閉めます。

⚠ 注意	**薬液補充の際は注意する** 十分に換気を行い、保護具（ゴム手袋）を使用してください。 浴槽を最下位まで下げた状態で行ってください。上げたままだと、こぼれたときに飛散します。 周囲に薬液がこぼれた場合は水で洗い流してください。フレーム等の錆や変色の原因となります。 空の容器は、よく洗い流して処理してください。
	薬液は濃度が 1.5%のものを使用する 濃度が異なりますと殺菌効果への影響や、機器の故障につながります。
	使用期限内のものを使用する 薬液は、経時変化により殺菌効果が弱くなりますので、容器に表示されている使用期限内でご使用ください。

ご注意 薬液タンク内の薬液も使用期限を過ぎたら、タンク下のドレンコックを開き、タンク内の薬液を排水してから、新しい薬液を補充してください。

参考 薬液タンクの容量は薬液補充ランプが点灯してから補充する場合に 800cc の薬液が入る容量になっています。



薬液タンク（図－12）

「薬液の取り扱いの注意」

薬液の容器に書かれている取り扱いの注意をよく読んでお使いください。

⚠ **警告**	**酸性の製品の近くに置いたり、一緒に用いない** 人体に有害な塩素ガス等の発生の恐れがあります。万が一塩素ガスを吸込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けてください。
	誤って薬液を飲んだ場合、応急処置後、医師に相談する 万が一飲み込んだときは吐かせずに多量の水や牛乳を飲ませ、「次亜塩素酸ナトリウム」を飲んだと云って医師にご相談してください。
	薬液が目に入った場合は、応急処置後、医師に相談する 万が一目に入ったときはすぐにきれいな水で 15 分以上洗い流し、医師の診察を受けてください。

⚠ **注意**	**薬液が誤って人体または衣服についた場合は、すぐにきれいな水で洗い流す** 液が皮膚についたときはぬめり感がなくなるまで洗い流してください。
	薬液の排水の際は注意する 十分に換気を行い、保護具（ゴム手袋）を使用してください。 排水する薬液は濃度を水で十分に薄めてから処理してください。

5－10 ろ過装置（オプション）について

（図－13 参照）

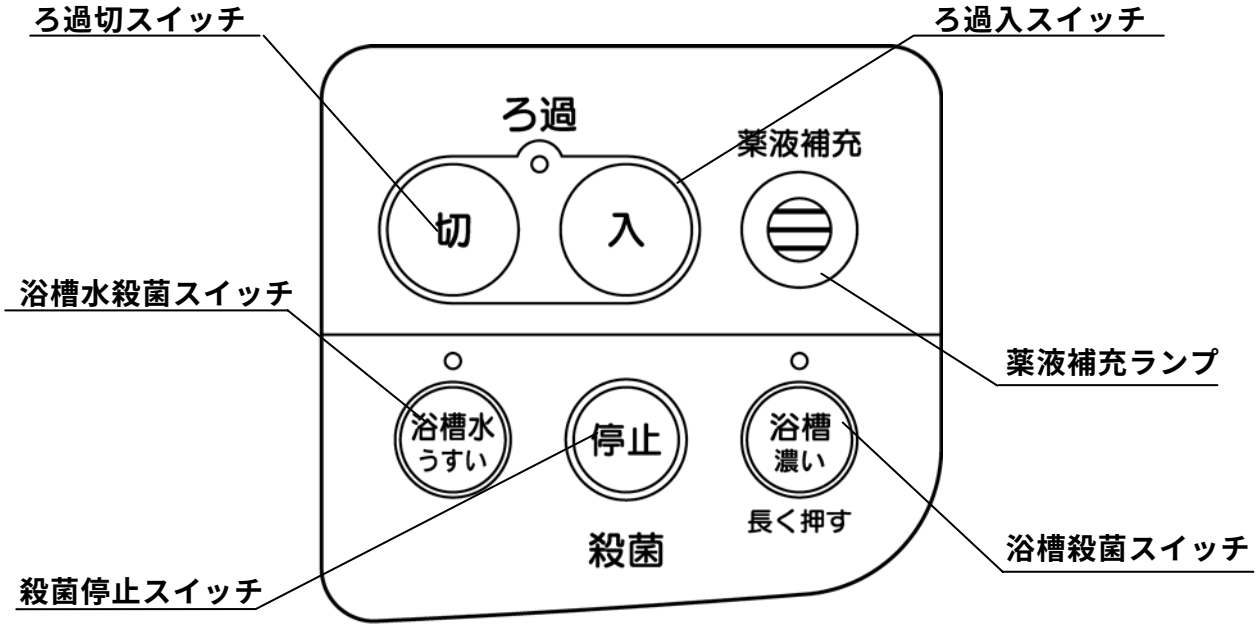
ろ過装置は浴槽内の湯を循環ろ過します。作動中は給湯口より、ろ過された湯が流れます。

但し、肩かけ湯の作動中は、ろ過装置は作動しません。必ず、肩かけ湯が止まった状態で操作してください。

(1) ろ過装置の操作は、「入」「切」スイッチで行います。湯量が少ない場合は「入」スイッチを押しても作動しませんので、湯量が増してから「入」スイッチを押してください。
(2) 排水して湯量が所定の湯量になると自動的に循環ろ過装置が止まります。

参考

- 循環ろ過装置には、保温機能はついておりませんので、湯温の調節はさし湯で行なってください。
- 浴槽内で失禁した場合には、ろ過スイッチを「切」にしてください。ろ過装置内への汚物の進入を防止できます。
  再度、給湯する場合には、スイッチを「入」にしてから行なってください。



ろ過スイッチ付（オプション）
殺菌スイッチ部（図－13）

5－11 肩かけ湯について

浴槽内へ適温水を満たした状態で使用してください。

また、ろ過装置作動中は、肩かけ湯は作動しません。必ず、ろ過装置が止まった状態で操作してください。

(1) 担架を所定の位置にセットした後、入浴スイッチを押すと、オートスライドが作動し、担架が浴槽中央部に移動した後、浴槽が上昇し、上限で停止した後､肩かけ湯入スイッチを押すと､肩かけ湯が担架の両側から出ます。

(2) 担架の肩かけ湯の角度を調節してください。

(3) 担架の肩かけ湯のシャワーとマッサージを選んでください。

(4) 担架を浴槽から外へ出す場合、必ず肩かけ湯切スイッチを押して、肩かけ湯を停止してから行なってください。

ご注意 上記(2)、(3)については、肩かけ湯を使用する前に「担架（WS-360）」の取扱説明書を十分に読んでからご使用ください。

(入・出浴については５－３を参照)

⚠ **警告**	**肩かけ湯を使用する際は、浴槽内温度計と手で必ず湯温を確認** 温度が高いとやけどをする恐れがあります。

⚠ **注意**	**担架を浴槽内外へ移動するときには、必ず肩かけ湯を停止する** 肩かけ湯が作動中のまま移動すると、湯が飛び散る場合があります。

参考 朝、最初に肩かけ湯を使用するときや、お昼休み後に使用するときなどは、出始めに冷たい水が出ることがありますので、１度担架に人を乗せないで動かし、肩かけ湯の温度を手で確認した後、使用することをおすすめします。

5－12 自動給湯システムについて

(図－４参照)

自動給湯入スイッチを押すと自動的に給湯が始まり､適正水位で浴槽への給湯を自動停止します。自動停止する前でも自動給湯切スイッチを押すと給湯を停止できます。

参考 本製品の自動給湯システムは、入浴中などで、適正水位より水位が低くなったときに、毎回自動給湯するシステムになっておりませんので、適正水位より水位が下がったときは、給湯バルブにより給湯するか、またはお手数ですが毎回自動給湯入スイッチを押してください。

６．担架の操作方法

担架の取扱説明書をご覧ください。

７．ストレッチャーの操作方法

ストレッチャーの取扱説明書をご覧ください。

８．洗浄台の操作方法

洗浄台の取扱説明書をご覧ください。

９．入浴手順及び介助者の確認事項

順送式入浴装置は、入浴作業（移動、洗浄、入浴、清拭）の各工程を介助者の分担作業で行う事が可能ですが、工程間の連携のよしあしが効率に大きく影響します。操作方法ならびに手順に習熟して頂く事は、勿論ですが、分担作業を終わって次の入浴作業工程へ移送する際の安全確認には充分に注意してください。

９－１ 洗浄台がある場合

居室又は病室（ベッド）→ストレッチャー→浴室

(1) 担架を乗せたストレッチャーをベッドの脇まで移動します。
(2) ストレッチャーのキャスターをロックします。
(3) 担架の手すりを上げて、ベッド側のサイドフェンスを倒し、トランスファーし易い状態にしてから担架に入浴者を乗せます。
(4) 入浴者を乗せたら、担架のサイドフェンスを起こし、手すりを下ろして安全ベルトで固定します。
(5) キャスターのロックを解除し、浴室まで移動します。

ストレッチャー→洗浄台

(1) 青いシールを目印に、ストレッチャーのキャスター案内円盤が洗浄台のガイドに沿うようにストレッチャーを洗浄台に横づけします。
(2) ストレッチャーが洗浄台のキャッチャーに連結されたことを引いて確認した後、キャスターをロックします。
(3) 水受盤中央のスライド板を大腿部で押しながら担架のロックを解除し、担架を洗浄台へ移動します。
(4) 担架が洗浄台にロックされたことを、担架を動かして確認します。
(5) 空いたストレッチャーは洗浄台から離し、キャスターをロックします。
(6) 身体を洗浄します。

洗浄台→浴槽

(1) 洗浄終了後、浴槽が下限にあること及びオートスライドストッパー受が洗浄台側に移動していることを確認します。
(2) 洗浄台のキャスターロックを解除し、洗浄台を横移動して青いシールを目印にキャスター案内円盤が浴槽のガイドに沿うように洗浄台を浴槽に横づけします。

(3) 洗浄台が浴槽のキャッチャーに連結されたことを引いて確認した後、キャスターをロックします。
(4) 水受盤中央のスライド板を大腿部で押しながら担架のロックを解除し、担架を浴槽へ移動します。
(5) 担架がオートスライドストッパー受でロックされたことを、担架を動かして確認します。
（浴槽内で担架がしっかりとロックされていないと、浴槽が上昇しませんので注意してください）
(6) 入浴スイッチを押して浴槽を入浴者の最適深さになるまで上昇させます。

浴槽→洗浄台

(1) 入浴時間が経過したら出浴させたい方向の出浴スイッチを押します。
(2) 浴槽が下限まで下がり、担架は出浴スイッチの押した側へ移動します。
(3) 水受盤中央のスライド板を大腿部で押しながら担架のロックを解除し、担架を洗浄台へ移動します。
(4) 担架が洗浄台にロックされたことを、担架を動かして確認します。
(5) キャスターのロック及び洗浄台の連結を解除し、横移動して浴槽から離します。
(6) 洗浄台のキャスターを再度ロックし、入浴者にシャワーで上がり湯をかけ、清拭します。

洗浄台→ストレッチャー→居室又は病室(ベッド)

(1) 青いシールを目印にストレッチャーのキャスター案内円盤が洗浄台のガイドに沿うようにストレッチャーを洗浄台に横づけします。
(2) ストレッチャーが洗浄台のキャッチャーに連結されたことを引いて確認した後、キャスターをロックします。
(3) 水受盤中央のスライド板を大腿部で押しながら担架のロックを解除し、担架をストレッチャーへ移動します。
(4) 担架がストレッチャーにロックされたことを、担架を動かして確認します。
(5) 居室へ搬送し、ベッドに横づけしてストレッチャーのキャスターをロックします。
(6) 担架の手すりを上げ、ベッド側のサイドフェンスを倒し、トランスファーし易い状態にしてから入浴者をベッドへ移します。
(7) ストレッチャーの水受盤に溜まった水は排水ホースを外して排水します。

９－２ 洗浄台がない場合

居室又は病室（ベッド）→ストレッチャー→浴室

(1) 担架を乗せたストレッチャーをベッドの脇まで移動します。
(2) ストレッチャーのキャスターをロックします。
(3) 担架の手すりを上げて、ベッド側のサイドフェンスを倒し、トランスファーし易い状態にしてから担架に入浴者を乗せます。
(4) 入浴者を乗せたら、担架のサイドフェンスを起こし、手すりを下ろして安全ベルトで固定します。
(5) キャスターのロックを解除し、浴室まで移動します。
(6) ストレッチャーのキャスターをロックして身体を洗浄します。

ストレッチャー→浴槽

(1) 洗浄終了後、浴槽が下限にあること及びオートスライドストッパー受がストレッチャー側に移動していることを確認します。
(2) 青いシールを目印にストレッチャーのキャスター案内円盤が浴槽のガイドに沿うようにストレッチャーを浴槽に横づけします。
(3) ストレッチャーが浴槽のキャッチャーに連結されたことを引いて確認した後、キャスターをロックします。
(4) 水受盤中央のスライド板を大腿部で押しながら担架のロックを解除し、担架を浴槽へ移動します。
(5) 担架がオートスライドストッパー受でロックされたことを、担架を動かして確認します。（浴槽内で担架がしっかりとロックされていないと、浴槽が上昇しませんので注意してください）
(6) 入浴スイッチを押して浴槽を入浴者の最適深さになるまで上昇させます。

浴槽→ストレッチャー→居室又は病室(ベッド)

(1) 入浴時間が経過したら出浴させたい方向の出浴スイッチを押します。
(2) 浴槽が下限まで下がり、担架は出浴スイッチの押した側へ移動します。
(3) 水受盤中央のスライド板を大腿部で押しながら担架のロックを解除し、担架をストレッチャーへ移動します。
(4) 担架がストレッチャーにロックされたことを担架を動かして確認します。
(5) キャスターのロック及びストレッチャーの連結を解除し浴槽から離します。
(6) ストレッチャーのキャスターを再度ロックし、入浴者にシャワーで上がり湯をかけ、清拭します。
(7) 居室へ搬送し、ベッドに横づけしてストレッチャーのキャスターをロックします。
(8) 担架の手すりを上げ、ベッド側のサイドフェンスを倒し、トランスファーし易い状態にしてから入浴者をベッドに移します。
(9) ストレッチャーの水受盤に溜まった水は排水ホースを外して排水します。

⚠ 警告

入浴スイッチを押す前に、必ず手で湯温を確認

熱いとやけどをする恐れがあります。

移動後はキャスターをロック

ストレッチャー・洗浄台の移動後はキャスターをロックしてください。また、担架を横移動するときは、ストレッチャーが洗浄台・浴槽のキャッチャーと連結されていることを必ず確認後、キャスターをロックしてください。

入浴者が乗り降りするときはキャスターをロック

必ずキャスターをロックしてください。また、サイドフェンスがしっかりとベッドに乗っていることを確認してください。

連結ロック解除後は、速やかにストッパー解除ペダルから足を離す

踏み続けたり、体重を乗せたりするとストレッチャーが傾いたり、転倒する恐れがあります。

入浴者を乗せたら、サイドフェンスを起こしてロック確認

ロックが不十分だと、落下の恐れがあります。

担架に乗せたら、必ず手すりを握らせ、安全ベルトを使用する

- 握っていないと上肢が担架の外側に出てけがをする恐れがあります。握れない入浴者の場合には、上肢を保持するベルトなどを用いるなどして、上肢が担架の外側に出ないようにしてください。
- ベルトをしなかったり、固定が適切でないと、身体がずれて落下したり、ベルトで擦れてけがをする恐れがあります。

担架を移動したらロックを必ず確認

担架が落下する恐れがありますので、担架を押し引きしてしっかりロックされていることを確認してください。

出浴スイッチを押す前に、ストレッチャー(または洗浄台)が、浴槽に連結されていることを確認

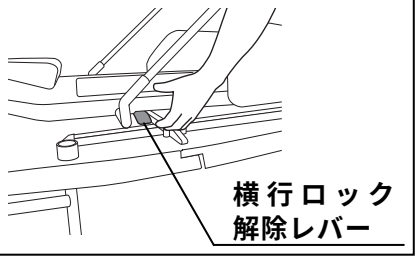
連結する前に、出浴スイッチを押すと、担架のロックを外したときに担架が落下する恐れがあります。

入浴中の入浴者の状態に注意

水没等がないように、常に観察してください。

担架を少し移動させたら、必ず横行ロック解除レバーから指を離す

レバーを持上げたまま移動させると、担架がロックされず、担架ごと落下する恐れがあります。



⚠ 注意	**浴槽内で担架を正しい位置にロックする** ロックされていないと、浴槽が上昇しませんので注意してください。
	手の挟み込みに注意 ● 担架をストレッチャー・洗浄台または浴槽へ移動する際には、担架の裏側に手を入れないでください。手が挟まれけがをする恐れがあります。 ● ストレッチャー・洗浄台の水受盤中央のスライド板は、自動的にバネで戻りますので手などを挟まれないように注意してください。
	浴槽を昇降するときは入浴者の状態に注意 落下等がないように、常に観察してください。また危険を感じたらすぐに停止スイッチを押せるように準備してください。
	ストレッチャーが浴槽（洗浄台）のキャッチャーに連結されたことを確認してから、キャスターをロック 連結が不十分だと、担架の脱落などの原因になります。
	担架の移動は、ゆっくり 入浴者に不安感を与えないようにゆっくり行ってください。特に、強い力で担架を押し引きして手を離したりせず、必ず手を添えて担架移動を行ってください。

10．その他の使用上の注意

⚠ 警告	**操作部後側の３か所のゴムカバーを勝手に開けない** 操作部後側のスイッチはメンテナンス用です。サービスマン以外は、ゴムカバーを取りはずして中のスイッチを操作しないでください。

⚠ 注意	**操作スイッチにシャワー等で水をかけない** 水がかかると電気系統の故障の原因になります。
	使用後は、必ず排水する 浴槽はビニルエステル系のＦＲＰ製であり、長時間（２４時間以上）水を張っておきますと浸食される恐れがあります。また、水垢などが浴槽にこびりつき、汚れが落ちにくくなります。
	浴槽を下限まで下げてから排水栓(２か所)を抜く 浴槽が上がったまま、排水を行うと水が飛び散ります。
	使用後は、必ず換気を行い室内の湿度を下げる 湿気による錆やかびなどの発生を抑えます。
	使用後は、必ず製品の電源を切る 事故を防止します。
	納入時のビニールカバーは、破棄する 製品にかけて使用すると、錆などが発生しやすくなるので、絶対に使用しないでください。
	この製品は、一部に天然ゴムを使用しています かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談し、適切な措置を施してください。

11．お手入れの仕方

11－1 清掃

(1) ホースやシャワー等で洗浄するのは、浴槽内側だけにしてください。外側、特に操作部や浴槽昇降駆動部には絶対に水をかけないでください。
浴室床面を洗う際には水がかからないように注意してください。

(2) 操作スイッチは雑巾等で軽く拭く程度にしてください。

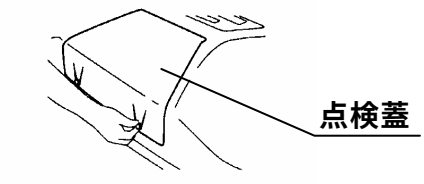
(3) 本浴槽は FRP 製です。たわし等で擦りますと傷がつきますのでスポンジ等の柔らかいもので洗浄してください。

(4) ステンレス部は水滴をそのままにしておくと水垢が残り汚くなります。乾いた布で水滴をきれいに拭きとってください。

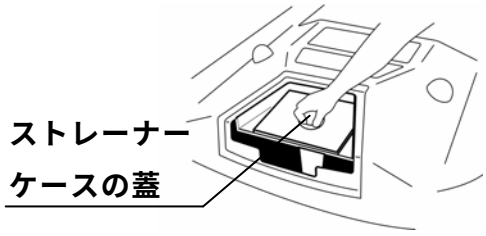
(5) １日の入浴作業終了後は、浴槽内をきれいに洗浄してください。

(6) ろ過装置(オプション)のストレーナーの清掃(図－15,16)は、浴槽内に湯水がないことを確認してから、浴槽の元電源を必ず切って交換作業をしてください。
まず、点検蓋を外し、ストレーナーケースの蓋を外し、ストレーナーに引っかかった毛髪やごみ等は取り除いてください。取り外したストレーナーケースの蓋は、必ず本体へしっかり閉めてください。

⚠ 注意	**清掃後、ストレーナーケースの蓋がしっかり締まって固定されていることを確認してから点検蓋を取付ける** ろ過装置の作動中は、ストレーナーケースの蓋を開けないでください。水漏れによる思わぬ故障の原因になります。



(図－15)



(図－16)

11－２ その他

(1) 浴槽レール台の支柱には定期的にシリコングリス（白色：付属品）を塗布してください。

⚠ 注意	**必ず付属のシリコングリスを使用する** 違うグリスを使用すると、故障の原因になります。

(2) 本浴槽は油圧駆動方式を採用しています。オイルタンク内にごみや水分が混入すると故障の原因となりますので、年に一度作動油の交換が必要です。（当社サービスマンにご用命ください）

12．このようなときには

症　　状	原　　因	対　　策
電源ランプがつかない。	電源が入っていない。	電源を入れてください。
入浴スイッチを押しても動かない。	電源が入っていない。	電源を入れてください。
	油圧系統のトラブル	最寄りの営業所にご連絡ください。
	電気系統のトラブル	最寄りの営業所にご連絡ください。
	担架が正しくセットされていない。(インターロック機構が作動している)	担架を正しい位置にセットしてください。
	駆動部のトラブル	最寄りの営業所にご連絡ください。
作動時に異音がする。	グリス切れ	指定箇所に付属のグリスを塗布してください。
給湯水が一定しない。	圧力調整弁のトラブル	最寄りの営業所にご連絡ください。
給湯温度が一定しない。	圧力調整弁のトラブル	最寄りの営業所にご連絡ください。
	圧力比が使用条件外	圧力比を適正値に調節してください。
給湯温度が低すぎる。または高すぎる。	ミキシング調整不良	ミキシングを再調節してください。
	給湯水の圧力比が使用条件外	圧力比を適正値に調節してください。

・その他、ご不明な点につきましては最寄りの営業所にご相談ください。
・ご使用中万一故障が発生したら、ただちに使用を中止してください。
・給湯，給水については、下記の条件範囲内でご使用ください。
　適正使用圧力　120～150kPa（約 1.2～1.5 kg／㎠）
　最大圧力比　　２：１(圧力変動含)

13．保証とアフターサービス

13－１ 保証書について

保証書は必ずお受け取りください。保証書がありませんと保証期間中でも代金を請求させていただく場合がありますので、よく読んで大切に保管してください。

保証期間につきましては、正常な状態でご使用いただきながら故障した場合、本体フレーム及びＦＲＰ部品は５年間、それ以外は１年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

13－２ 修理を依頼される場合

(1) 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

機種名

お買い上げ年月日

故障状況(できるだけ詳細に)

住所，氏名，電話番号

(2) メーカーより指示のあるとき以外は、決して開けたり分解しないでください。

14．仕 様

浴槽	外形寸法		2855(Ｌ)×1000(W)×720～1150(Ｈ)㎜
	容　　量		約 530 ℓ
	質　　量		約 600 kg
	電　　源		三相 200Ｖ 30Ａ
	消費電力		2.3 kVA
	材質	浴　槽	ＦＲＰ製
		フレーム	スチール＋粉体塗装
	機能構成		バブラー内蔵
			漏電ブレーカー内蔵
			自動リクライニング
			リクライニング調節機構
			肩かけ湯機構
			オートスライド機構
			塩素殺菌装置
			自動給湯システム
	機能構成(オプション)		ろ過装置
付 属 品			取扱注意銘板２枚、シリコングリス１個、ハケ１個 希釈ボトル１個

注)都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。